

施策名 (通称等あれば)	静岡県御殿場市 障害のある人の社会参画・活動の支援
施策の目標	雇用の促進や就労、福祉的就労の支援、文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進などにより、障害のある人の社会参画・活動を支援する。
構成事業名	1 障害者民間福祉施設運営費補助 2 地域生活支援事業 3 タクシー券助成事業 ④ 障害者雇用促進対策事業

問2. 上の中のものも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始年度	平成22年度(事業終了予定年度 年度)
事業の目標	障害のある人が障害のない人と同様にその能力と適性に応じた雇用の場につくこと。また、継続した雇用環境が整った社会生活をすること。
事業化に至る経緯(関与した人物などできるだけ詳しく)	市内の企業を対象に、障害者の雇用促進と障害者就労支援事業所への仕事の委託について、支援事業所の代表と依頼に回った際、障害者の雇用に向けて会社への助成について相談があった。また、市議会においても障害者雇用の促進について提案がされたことから制度設計を行った。
これまでの取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか? 企業訪問。 ハローワークとの調整。 障害者団体等への制度紹介。

事業の成果指標名	① 小規模事業所における雇用拡大 ②
選択理由	① 賃金助成による運営負担の軽減 ② 障害者雇用の機会拡大
算定の方法	① 月額27,000円(限度額)×24カ月 ②

問4. その事業の指標と事業費の推移をお教え下さい。

区分	単位	指標・事業費の推移			
		平成22年度	23年度	24年度	22年度
	件	計画	実績	計画	実績
成果指標①		8	9	9	6

達成率	%				75
成果指標②					
達成率	%				
事業費(合計)	円	2,700,000	3,000,000	3,000,000	2,700,000
内国庫からの支出金	円				
その他	円				
一般財源	円	2,700,000	3,000,000	3,000,000	2,700,000

問5. 事業の評価をお教え下さい。

事業の評価 ※○をつけて下さい		説明
関与の必要性	④) 高 b) 中 c) 低	平成20年リーマンショック以降、雇用状況は低迷している。雇用拡大の契機となる。
目標の達成状況	④) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	制度開始とともに利用事業所が出ている。
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 ④) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	他の国・県制度と併せて推進する。 雇用人数56人未満の小規模事業所が対象である。
今後の方向性について(事業の計画等)	企業訪問の継続。 啓蒙活動	

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか? 当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ① ホームページ ② 広報誌 ③ チラシの印刷 d) テレビ ④) 新聞  
f) ラジオ  
g) イベントの開催 h) その他 ( )

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) バックログの実施  
b) アンケート調査の実施  
c) 専用相談窓口等の設置  
d) その他 ( )
- 問8. へお進みください

※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)



問1. 「共生社会」をめざした各種施策のうち、現在実施中の障害者施策に関するもので、地域の独自の取り組みとして考えられるものについてお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	愛知県瀬戸市		
施策の目標			
構成事業名	1	障害者手当支給	
	2	交通料金補助金	
	3	養護学校放課後支援	

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始年度	平成 22 年度 (事業終了予定年度)	年度
事業の目標	瀬戸養護学校終了後の放課後支援	
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)		
これまでの取り組み	教育委員会、市内事業所との打ち合わせ。 委託事業所の選定。	
事業化に至った要因は何であると考察しましたか?		

事業の成果指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

問4. その事業の指標と事業費の推移をお答え下さい。

区分	単位	年度		年度		年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
成果指標①							
達成率	%						
成果指標②							
達成率	%						

指標・事業費の推移

事業費 (合計)	円								14,870,000
内 国庫からの支出金	円								9,000,000
その他	円								2,100,000
一般財源	円								3,770,000

問5. 事業の評価をお答え下さい。

事業の評価 ※○をつけて下さい		説明
関与の必要性	a) 高 ②) 中 c) 低	
目標の達成状況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	
今後の方向性について(事業の計画等)		

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか?  
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ    b) 広報紙    ②) チラシの印刷    d) テレビ    e) 新聞  
f) ラジオ  
g) イベントの開催    ③) その他 (保護者との打ち合わせ会)

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) パブリックコメントの実施 → 問8. へお進みください  
②) アンケート調査の実施  
c) 専用相談窓口等の設置  
d) その他 ( )  
※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になつていない  
f) 計画中である  
g) 現時点で実施する予定はない  
h) その他 ( ) → 問10. へお進みください

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- ④) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思えますか？

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

④) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

④) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は無効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- ④) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者実施している

問 14. へお進みください

b) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇km 等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割引)	備考	
第 1 種 障害	単独で乗車 介護者と共に	小児	なし	手帳	5 割	1 乗車 100 円	
		大人					
第 2 種 障害	単独で乗車	小児	なし			1 乗車 100 円	
		大人		手帳	5 割		
	介護者と共に	小児					1 乗車 100 円
		大人		なし	手帳	5 割	

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	愛知県犬山市 障害者給付事業
施策の目標	心身障害者の福祉の増進
構成事業名	① 障害者扶助料支給事業 2 障害者タクシー料金助成事業 3 重症心身障害者(児)訪問理髪サービス事業 4 在日外国人重度心身障害者福祉手当支給事業

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始 年度	昭和48年度(事業終了予定年度なし年度)
事業の目標	心身障害者に犬山市障害者扶助料を支給し、障害者等のいる家庭の経済的な負担を軽減する。
事業化に至る 経緯 (関与した 人物などで きるだけ詳 しく)	事業化に至った要因は何であると考察しましたか?
これまでの 取り組み	平成6年度に社会情勢等を考慮して支給額の単価の見直しを行った。

事業の成果 指標名	①のべ受給者数	②扶助料支給額
選択理由	①	②
算定の方法	①年間受給者数	②年間支払額

問4. その事業の指標と事業費の推移をお答え下さい。

区分	単 位	指標・事業費の推移		
		19年度	20年度	21年度
成果指標①	人	計画 実績	計画 実績	計画 実績
	%	33,619 101.3	34,000 101.3	34,458 100.0
成果指標②	円	77,500,000	78,000,000	79,305,000
	%	101.6	103.7	103.7

事業費(合計)	円	77,500,000	78,000,000	79,305,000	80,000,000	83,000,000	83,000,000
内 国庫から の支出金	円	0	0	0	0	0	0
その他	円	0	0	0	0	0	0
一般財源	円	77,500,000	78,000,000	79,305,000	80,000,000	83,000,000	83,000,000

問5. 事業の評価をお答え下さい。

事業の評価	※○をつけて下さい	説明
関与の 必要性	④) 高 b) 中 c) 低	当市の単独事業であり、障害者の経済的負担軽減や社会参加の促進を図る上で必要性は高く、今後も事業の継続が必要である。
目標の 達成状 況	a) 順調 ⑤) 普通 c) 順調ではない	達成率や実績値は向上しており、目標を達成している。
成果の 向上の 余地	a) 大幅な向上が可能 ⑥) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	受給者数及び支給額が増加することが予測される。
今後の 方向性 について (事業 の計画 等)	障害者の自立支援のための経済的施策であるため、支給額・対象者等を精査しながら今後も継続して支給していく。	

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか?  
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ⑧) ホームページ ⑨) 広報誌 ⑩) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞  
f) ラジオ  
g) イベントの開催 h) その他( )

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたいですか?

- はい → a) パブリックコメントの実施  
b) アンケート調査の実施  
c) 専用相談窓口等の設置  
d) その他( )

※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている  
f) 計画中である  
⑭) 現時点で実施する予定はない  
h) その他( )

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

→ 問9. へお進み下さい

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年	月	

②) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありませんか？

- a) はい
- ②) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- a) はい
- b) いいえ

問13. 地域に響かず障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- ③) はい →
  - a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
  - ④) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
  - c) 民間事業者が主体となって運行し事業者に補助金を支出している
  - d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
  - e) すべて民間事業者実施している

b) いいえ → 問15. へお進みください

→ 問14. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割引)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児	なし		10割	
		大人	なし		10割	
	介護者と共に	小児	なし		10割	
第2種 障害	単独で乗車	大人	なし		10割	
		小児	なし		10割	
	介護者と共に	小児	なし		10割	
		大人	なし		10割	

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

問1. 「共生社会」をめざした各種施策のうち、現在実施中の障害者施策に関するもので、地域の独自の取り組みとして考えられるものについてお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	京都府 負担軽減(セーフティ)
施策の目標	障害者自立支援法の施行等に伴う自己負担の増加等に対し国制度を補完し、障害者等の負担を軽減
構成事業名	① 障害者福祉サービス等支援事業
	② 障害児等福祉サービス等支援給付金

事業の開始年度	平成18年度(事業終了予定年度—年度)
事業の目標	障害者自立支援法の施行等に伴う自己負担の増加等に対し国制度を補完し、障害者等の負担を軽減
事業化に至る経緯(関与した人物などできるだけ詳しく)	平成18年4月の障害者自立支援法の施行により、応能負担から応益負担(原則1割負担)となったが、負担増により必要なサービスが受けられない事態を生じさせず、安心してサービスが利用できるよう、市町村と協力して障害者自立支援法施行当初から利用者負担の軽減措置を実施。
これまでの取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか? 平成18年度制度創設 国に対し制度化を要望

事業の成果指標名	①市町村の実施率	②
選択理由	①一部を除き府の補助事業であり実施主体は市町村であるため	②
算定の方法	①事業実施市町村数/府内市町村数	②

区分	指標・事業費の推移							
	単 位	19年度		20年度		22年度		
成果指標①		計画	実績	計画	実績	計画	実績	目標値
市	26	26	26	26	26	26	26	26
町								
村								
%		100		100		100		
選成率								
成果指標②								

達成率 %	204,522,000	168,723,000	168,723,000	107,215,000	165,813,000	168,753,000	167,801,000	165,815,000
事業費(合計)	円							
内 国庫からの支出	円	0	0	0	0	0	0	0
内 記 録	円	0	0	0	0	0	0	0
その他	円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	円	204,522,000	168,723,000	107,215,000	165,813,000	168,753,000	167,801,000	165,815,000

問5. 事業の評価をお答え下さい。

事業の評価	説明	
	① 高	② 低
国との必要性	国の減免制度が拡充してきているもの、なお府独自の制度での対応が必要な部分がある。	事業実施について全市町村の協力が得られている。
目標の達成状況	① 順調 ② 普通 ③ 順調ではない	
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	全市町村で実施済みである。
今後の方向性について(事業の計画等)	本来、ナショナルミニマムの観点から国において措置されるべきものであり、引き続き国に対し国制度の拡充を要望	

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか? 当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ     b) 広報紙     c) チラシの印刷     d) テレビ     e) 新聞  
 f) ラジオ  
 g) イベントの開催     h) その他( )

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) パブリックコメントの実施  
 b) アンケート調査の実施  
 c) 専用相談窓口等の設置  
 d) その他( )
- ※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- はい → e) 実施する予定になっている  
 f) 計画中である
- 問8. へお進みください  
問10. へお進みください

- ㉑) 現時点で実施する予定はない
- h) その他 ( )

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

→ 問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

- a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

- ㉑) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありませんか？

- a) はい
- b) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- a) はい
- b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい →
  - b) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
  - c) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
  - d) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金を支出している
  - e) すべて民間事業者実施している

→ 問 14. へお進みください

- ㉑) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割引引き)	備考
第 1 種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				
第 2 種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	京都府与謝野町 与謝野町障害者職場実習奨励金支給事業
施策の目標	職場実習奨励金を支給することにより、障害者の職場体験の機会拡大と一般就職へ繋げていくことを目的とする。
構成事業名	1 与謝野町障害者職場実習奨励金支給事業

事業の開始 年度	平成 22 年度 (事業終了予定年度 一年度)
事業の目標	与謝野町障害者職場実習奨励金支給事業
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)	障害者の自立を促すため、19 年度より設置の地域自立支援協議会において開催している障害者就労支援セミナー内で実施する職場実習の受け入れ先企業を拡充するため、企業への奨励金支給制度を創設した。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？ 町障害福祉計画に策定の就労移行促進のため
これまでの取り組み	約 1 カ月にわたり、11 名の障害者について、町内の 5 つの企業で職場実習を実施。

事業の成果 指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

区分	単位	指標・事業費の推移			22 年度 実績	22 年度 目標値
		年度 計画	年度 実績	年度 計画		
成果指標①						
達成率	%					
成果指標②						
達成率	%					
事業費 (合計)	円				126,000	
内 国庫からの支出金	円				0	
その他	円				0	
一般財源	円				126,000	

事業の評価 ※○をつけて下さい		説明
関与の必要性	a) 高 b) 中 c) 低	
目標の達成状況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	
今後の方向性について(事業の計画等)	実習受け入れ企業の更なる拡充	

問 6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？  
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ㊸ ホームページ   ㊹ 広報誌   c) チラシの印刷   d) テレビ   e) 新聞  
 f) ラジオ  
 g) イベントの開催   h) その他 ( )

問 7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) パブ/リッカ/コメトの実施  
 b) アンケート調査の実施  
 c) 専用相談窓口等の設置  
 d) その他 ( )
- ※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)

- (いいえ) → e) 実施する予定になっている  
 f) 計画中である  
 ㊺) 現時点で実施する予定はない  
 h) その他 ( )
- 問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた  
 b) 普通  
 c) 良い評価を得られなかった
- 問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

⑩) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

⑩) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

⑩) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している

⑩) 運行は自治体であるが業者が委託して運行を実施している

c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金等を支出している

d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金等を支出している

e) すべての民間事業者が実施している

b) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. へお進み  
ください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割引き)	備考	
第 1 種 障害	単独で乗車	小児	なし	普通 船券	5		
		大人					
第 2 種 障害	介護者と共に	小児					
		大人	なし	普通	5		
	単独で乗車	小児	なし		普通	5	
		大人					
	介護者と共に	小児					
		大人	なし		普通	5	

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	奈良県御所市 福祉タクシー基本料助成事業
施策の目標	重度心身障害者・児の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、重度心身障害者・児に対し、福祉タクシーの利用料金の一部を助成し、もって重度心身障害者・児の福祉の増進に寄与することを目的とする。
構成事業名	1

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始年度	平成4年度(事業終了予定年度)	年度
事業の目標	重度心身障害者・児の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、重度心身障害者・児に対し、福祉タクシーの利用料金の一部を助成し、もって重度心身障害者・児の福祉の増進に寄与することを目的とする。	
事業化に至る経緯(関与した人物などできるだけ詳しく)	もともとは県の助成として事業実施を行っていたが、助成が終了してからも市独自で事業を行っている。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？	
これまでの取り組み	身体障害者福祉法に規定する障害程度が1級または2級のものと、奈良県療育手帳制度に規定する重度(A1,A2)の者に対し、福祉タクシーを利用した際に、利用料金のうち基本料金相当額を助成している。	

事業の成果指標名	①成果判定は行っていない(目標設定は行っていない)	②
選択理由	①	②
算定の方法	①	②

問4. その事業の指標と事業費の推移をお教え下さい。

区分	単位	指標・事業費の推移			
		年度		年度	
		計画	実績	計画	実績
成果指標①					
達成率	%				
成果指標②					
達成率	%				
事業費(合計)	円				

内訳	円				
支出金	円				
その他	円				
一般財源	円				

問5. 事業の評価をお教え下さい。

事業の評価	説明
関与の必要性	a) 高 ⑤) 中 c) 低 一年に一度、一冊、助成のための利用券を障害者に対して発行している。
目標の達成状況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない 目標設定は行っていない。
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない
今後の方向性について(事業の計画等)	利用者からのニーズがある限り必要経費の予算計上を行っていく。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？  
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ    b) 広報誌    c) チラシの印刷    d) テレビ    e) 新聞  
f) ラジオ  
g) イベントの開催 ⑥) その他(手帳交付の際に本人等に周知)

問7. その事業について、地域住民の評価を受けましたことがありますか？

はい → a) アプリ/コメントの実施    b) アンケート調査の実施    c) 専用相談窓口等の設置    d) その他( )    問8. へお進みください  
※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

いいえ → e) 実施する予定になっている    f) 計画中である    ⑦) 現時点で実施する予定はない    h) その他( )    問10. へお進み下さい

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

→ 問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

◎) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありませんか？

a) はい

◎) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

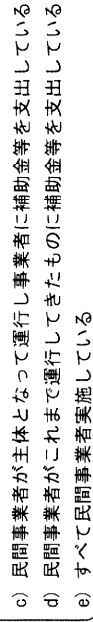
a) はい

b) いいえ

問 13. 地域に響かず障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

◎) はい →

- a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- ◎) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者に補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者実施している



b) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割引引き)	備考
第 1 種 障害	単独で乗車	小児			0	バス利用料は一律 100 円とされている。
		大人				
	介護者と共に	小児			0	
		大人				
第 2 種 障害	単独で乗車	小児			0	
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人			0	

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	大阪府 障がい者の地域における自立生活の促進
施策の目標	障害者に対する多様な社会生活訓練を充実するとともに、各種住宅福祉サービスの提供やグループホーム等の整備を促進するなど、在宅障がい者の生活の場を中心とした自立生活の支援に努める。
構成事業名	① 医療的ケアが必要な障がい児等地域生活支援システム整備 ② 発達障がい児地域療育システム整備事業

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始 年度	平成22年度(事業終了予定年度 平成23年度)
事業の目標	医療的ケアが必要な障がい児の地域生活の維持・継続並びに介護家族のレスパイト支援を行うことにより、障がい児並びに家族が安心して地域生活を送れる環境の整備を図ることを目的とする。
事業化に至る経緯 (関与した人物などで きるだけ詳しく しく)	○医療機関での状況 医療の高度化により、新生児の死亡率が上昇する一方、NICU等での6カ月以上の長期入院が増加しており、NICU等が常時満床状態となっている。親などの介護者が退院を躊躇する理由として、短期入所、居宅介護、訪問看護が希望通りに利用できないことを挙げられており、サービス基盤の強化が求められているところである。 ○在宅生活者の状況 在宅生活をされている重症心身障がい児については、府内に推計で約900名おられるが、前述のとおり短期入所等の地域生活を支える基盤が不足しているため、これを強化する必要がある。 以上の課題について、医療部局も含め府としての対応策を検討したところ、府内を6圏域に分割し、それぞれに医療と福祉のサービスの調整を実施する拠点施設を整備することとなった。 平成22年度は、2圏域で計画している。
これまでの 取り組み	

事業の成果 指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

区分	指標・事業費の推移							
	単位	19年度		20年度		21年度		22年度 目標値
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	
成果指標①								
達成率	%							
成果指標②								
達成率	%							
事業費(合計)	円							14,000,000
内 国庫からの 支出金	円							14,000,000
その他	円							
一般財源	円							

事業の評価	説明
関与の必要性 a) 高 b) 中 c) 低	今年度より実施しているため、今年度末に評価する予定。
目標の達成状況 a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	今年度より実施しているため、今年度末に評価する予定。
成果の向上の余地 a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	今年度より実施しているため、今年度末に評価する予定。
今後の方向性について(事業の計画等)	今年度より実施しているため、今年度末に評価する予定。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか?

当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ     b) 広報紙     c) チラシの印刷     d) テレビ     e) 新聞  
 f) ラジオ  
 g) イベントの開催     h) その他(こども未来プラン(施策集))

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

はい →  a) パブリックコメントの実施     b) アンケート調査の実施     c) 専用相談窓口等の設置

いい →  a) パブリックコメントの実施     b) アンケート調査の実施     c) 専用相談窓口等の設置

※当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)



施策名 (酒称等あれば)	鳥取県岩美町 健康いわみ21
施策の目標	こころの健康分野 みんなので支え合う地域を作ろう
構成事業名	1 精神保健ボランティア講座

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始 年度	平成13年度(事業終了予定年度継続可能な限り実施予定年度)
事業の目標	障がい者と地域の架け橋として、誤解や偏見を取り除き、障害者本人や家族のよき理解者として支援・協力を行えるようにする。
事業化に至る経緯 (関与した 人物などで きるだけ詳 しく)	平成11年に精神保健福祉法が改正され、身近な地域において支援を強化しようとする動きが強くなり、保健所を中心に行われてきた精神保健行政は住民に最も近い町村で行うという流れの中で、平成11年・12年にモデル事業として保健所が我が町を対象にボランティア講座を開催し、翌年から町が主催して引き継ぎ今年度まで実施中である。
これまでの 取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか? 平成14年から福祉サービスの実施主体が市町村に移行したこと 平成13年精神障がい者家族会「すずらの会」を設立(町で初めての)。平成13年～平成22年度現在、年に3~4回のカリキュラムを組み県立精神保健福祉センター医師、保健所保健師、家族会会長などを講師に講話を取り入れそのうち1回は小規模作業所においての当事者の交流を行う体験学習も必ず組み入れられている。毎年10~8名の修了者がある。

事業の成果 指標名	①心のボランティア修了
選択理由	①町の健康づくり計画(平成15~24年の10ヵ年計画)
算定の方法	①心のボランティア修了者を平成24年度には80人に増やすと言おう目標数値を設定しています。

指標・事業費の推移

区分	単 位	19年度		20年度		21年度		22年度 目標値
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	
成果指標①		1クール4回	10人の申し込みのうち8人修了	1クール4回	26人の申し込みのうち17人修了	1クール4回	27人の申し込みのうち8人修了	35人の申し込みのうち4人修了
達成率②	%							
成果指標②								
達成率	%							
事業費(合計)	円		0		0		0	0
内 国庫から	円							
訳の支出金	円							
その他	円							
一般財源	円							

事業の評価

事業の評価	説明
関与の必要性	①) 高 ②) 中 c) 低 行政主導で実施しているのが高いかと思いますが、一部、精神家族会にも関与いただいているので、二つ丸をしました。
目標の達成 状況	a) 順調 b) 普通 ③) 順調ではない キーパーソンの方が広く声かけをして、単発では講座に参加していただけるが、4回の講座のうち全回数出席した方に修了証書を発行しているのので、修了率は低くなっている
成果の向上 の余地	a) 大幅な向上が可能 ③) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない 修了された方をどのように活用させていただくか、組み立てがきちんとできていない。そのため、交流事業などに参加を促している。
今後の方向 性について (事業の計 画等)	目に見える活動としては衰れとしては衰れにくい、知識を持つ人が増えていくという、分母の底上げを考えています。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか?  
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ    ⑩) 広報誌    c) チラシの印刷    d) テレビ    e) 新聞  
f) ラジオ  
g) イベントの開催    ⑪) その他(民生委員協議会への受講依頼など)

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) パブリックコメントの実施  
 b) アンケート調査の実施  
 c) 専用相談窓口等の設置  
 d) その他 ( )

問8. へお進みください

※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)

いいえ → e) 実施する予定になっている  
 f) 計画中である  
 g) 現時点で実施する予定はない  
 h) その他 ( )

問10. へお進み下さい

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた  
 b) 普通  
 c) 良い評価を得られなかった

問9. へお進み下さい

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年	月	

o) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありませんか？

- a) はい  
 o) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- a) はい  
 b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

o) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している

- o) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している  
 c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している  
 d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している  
 e) すべて民間事業者実施している

問14. へお進みください

b) いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割り引き)	備考	
第1種 障害	単独で乗車	小児			5割		
		大人					
	介護者と共に		小児				
	介護者と共に		大人			5割	
第2種 障害	単独で乗車	小児			5割		
		大人					
	介護者と共に		小児				
		大人			なし		

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	鳥取県出雲市 出雲市福祉芸術文化祭 (はあとピアいずも)
施策の目標	障がいのある方が積極的に文化創造活動に参加し、その成果を発表することによって、社会参加への大きなステップとするとともに、地域の人々とふれあう機会を持つことで、障害のある方に対する理解と関心を高めることを目的とする。
構成事業名	① はあとピアいずも
	2
	3
	4

事業の開始 年度	平成9年度 (事業終了予定年度 継続中 年度)
事業の目標	障がいのある方が積極的に文化創造活動に参加し、その成果を発表することによって、社会参加への大きなステップとするとともに、地域の人々とふれあう機会を持つことで、障害のある方に対する理解と関心を高めることを目的とする。
事業化に至る経緯 (関与した 人物などで きるだけ詳 しく)	平成17年3月の市町合併前から、旧出雲市において、障がい者団体等(身障協会、障がい者施設、ボランティア団体等)と行政が協働して実行委員会を設立し実施している。
これまでの 取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか？ 既存のネットワークの活用と再構築 毎年、障がい者週間の前、11月初旬の土日で催事を開催。 内容)・はあとギャラリート(作品展～絵画、書、写真等) ・ひだまりコンサート(音楽祭～音楽、劇の発表会) ・私の声を聞いてください(意見発表会) ・福祉販売、舞台 ・はあとピア映画祭(バリアフリー映画上映) ・盲導犬啓発

事業の成果 指標名	②
選択理由	①
算定の方法	①

区分	指標・事業費の推移									
	単 位	19年度		20年度		21年度		22年度		22年度 目標値
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
成果指標①										
達成率	%									
成果指標②										
達成率	%									
事業費(合計)	円	550,000	550,000	495,000	495,000	495,000	495,000	382,000	495,000	495,000
内 国庫からの支 取	円	275,000	275,000	247,500	247,500	247,500	247,500	191,000	247,500	247,500
その他	円	137,500	137,500	123,750	123,750	123,750	123,750	95,500	123,750	123,750
一般財源	円	137,500	137,500	123,750	123,750	123,750	123,750	95,500	123,750	123,750

事業の評価	説明	
関与の必 要性	a) 高 b) 中 c) 低	
目標の達 成状況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	障がいのある方については、多くの参加を得られている。
成果の向 上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	一般市民参加への積極的働きかけ。
今後の方 向性につ いて(事業 の計画等)		継続して実施していく。実行委員会内で十分協議を行いながら、より多くの市民の参加を促していく。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか？  
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ     b) 広報誌     c) チラシの印刷     d) テレビ     e) 新聞  
 f) ラジオ  
 g) イベントの開催     h) その他 ( )

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい →  a) ハブ/リッカ・コメントの実施     問8.へお進みください  
 いいえ →  b) アンケート調査の実施

- c) 専用相談窓口等の設置
- d) その他 ( )

※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)

- e) 実施する予定になっている
- f) 計画中である
- ④ 現時点で実施する予定はない
- h) その他 ( )

問 10. へお進み下さい

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思えますか？

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

④) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

- ④) はい コミュニケーション支援事業 (障害者自立支援法地域生活支援事業)
- b) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- a) はい 他自治体からの電話問い合わせ、視察
- b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- ④) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- ④) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している

問 14. へお進みください

- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
  - e) すべて民間事業者実施している
- b) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割引引き)	備考	
第 1 種 障害	単独で乗車	小児			50%		
		大人					
	介護者と共に	小児					
		大人			50%		
第 2 種 障害	単独で乗車	小児			50%		
		大人					
	介護者と共に	小児					
		大人			50%		

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	鳥根県美郷町 障がい者の交通費助成
施策の目標	この施策は、当町の地域特性に鑑み、障害者自立支援法の目的に沿って、障がい者が地域と共生し自立と社会経済活動への参加の促進を促すことを目標とする。
構成事業名	1 精神障害者通院費助成
	② 障害者通所助成
	3 腎臓機能障害者通院費助成

事業の開始 年度	平成16年度(事業終了予定年度)	年度)
事業の目標	身体・知的・精神障害者の就労訓練事業所等の通所に要する経費を助成することにより、経済的負担を軽減し早期に一般就労への移行及び社会参加を図ることを目的とする。	
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)	当町は、山陰西部の中山間地域に位置する公共交通僻地である。この施策の対象者本人は自動車免許等所持する者が少なくまた、施設の利用も同種の施設は町内に1カ所しかなく町外に頼らなければならない現状である。このことから、通所した全回数において交通費を全額補助することにした。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？ 就労訓練事業所の工賃は低く、利用料等の経費を動柔しても経済的に通所を継続的に行う余裕ができるとは言えず、施設職員の不断の努力はあるが、さらに継続的な利用促進のため公費による交通費の補助が必要との認識となった。 障害者福祉サービスの利用申請の折に制度を説明し、利用促進に努める	
これまでの 取り組み		

事業の成果 指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

区分	指標・事業費の推移						22年度 目標値
	19年度	20年度		21年度		22年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
成果指標①							
達成率							
成果指標②							
達成率							
事業費(合計)	1,138,000	1,028,000	2,170,000	1,828,000	2,300,000	2,296,000	2,550,000
内 記 その他							
国庫から の支出金							
一般財源	1,138,000	1,028,000	2,170,000	1,828,000	2,300,000	2,296,000	2,550,000

事業の評価	説明	
関与の必 要性	◎) 高 b) 中 c) 低	障がいの特性から積極的な関与が必要である。
目標の達 成状況	◎) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	対象者の当制度利用は100%である。
成果の向 上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 ◎) ほとんどない	上記の目標達成状況による。
今後の方 向性につ いて(事業 の計画等)	この制度を含めてであるが、障がいの施策は現状または拡大を維持し、縮小方向に進まないように努める。	

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？  
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ    b) 広報誌    ◎) チラシの印刷    d) テレビ    ◎) 新聞  
f) ラジオ  
g) イベントの開催    ◎) その他( 窓口)

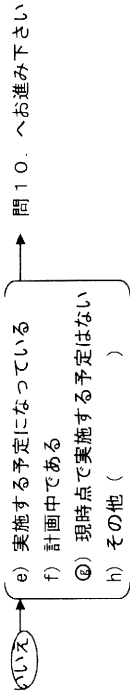
問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) アプリック・コメントの実施  
b) アンケート調査の実施

→ 問8. へお進みください

- c) 専用相談窓口等の設置
- d) その他 ( )

※当ではまるものすべてに○をつけてください(複数回答)



問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
  - b) 普通
  - c) 良い評価を得られなかった
- 問9. へお進み下さい

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

- a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名、雑誌名)	放映日、刊号等
年 月		

- ㊸) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

- a) はい
- ㊸) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響(問い合わせ等)はありましたか？

- a) はい
- b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等是有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- ㊸) はい
- ㊹) 運行をはじめずすべての業務を自治体で実施している
- ㊺) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している

問14. へお進みください

- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
  - e) すべて民間事業者実施している
- b) いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割り引き)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児		船券		
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				
第2種 障害	単独で乗車	小児		船券		目的：集落間の交流促進及び外出支援 地域：公共交通バス路線から1.5km以上離れた集落を対象に運行(町内間) その他：運賃は無料。運行は月1回。利用は65歳以上の高齢者または障害者の方です。
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。